

看護の心を私たちの心に

今年も12月下旬を迎え大雪と寒い日々が続いています。5月連休明けから3年生、1年生、2年生と臨地実習が切れ間なく続き、15日で3年生の21週間にわたる全ての実習が終了しました。途中、困難な学習状況や心身のストレスによる体調不良に何度も何度も遭遇したことでしょう。それを一つ一つ乗り越え、たくましく成長した姿は「看護師らしく、凛々しく」とっても素敵です。今回は9月移行の行事、学校内での演習、臨地実習での学習状況をご紹介します。(校長 澤田)

11月 ことぶき大学交流会 (6日) 1・2年生

今年もことぶき大学の大学生と1・2年生との交流会を開催しました。親しく接して下さいます皆様大変感謝しております。



交流会を通して皆さんの人生経験や活動内容、そして私達が将来、目指している看護師として必要な小さな心遣いや笑顔が患者さんをどれほど元気づけるか改めて知ることができました。また、お話の中であった辛い経験を糧として乗り越えることの大切さに気づくことができました。ありがとうございました。お礼文から一部抜粋



看護技術発表会 (20日・21日) 1年生

看護技術発表会を開催しました。内容は事例患者の状況を読み取り基礎看護技術を統合し、事例に必要な一日のケアを組み立てた実践です。主な看護技術はコミュニケーション技術、環境調整技術、安全管理技術、安楽技術、観察技術(バイタルサイン測定、対象の反応観察)、活動・運動の援助技術、清潔・衣生活の援助技術などです。方法は1グループ3~4名でのグループ学習です。各グループで立案した1日の行動計画についてカンファレンスを開催し意見交換を行い、行動計画の見直し、修正をします。その後、いざ!本番です。



10月 成人看護学実習 I (13日~27日) 2年生

5月に実施しました老年看護学実習を踏まえ成人看護学実習 I の実習を実施し無事終えることができました。この実習を終え、2年生はさらに大きく成長したことを実感しました。

近藤 那菜さん

成人看護学実習 I を通し、今回初めて看護問題、看護計画、看護目標を立案し、それを基に患者さんに健康問題の解決にむけた援助を行った。健康問題を解決するためには、患者さんが現在どのような状況であるのか、身体面、精神面、社会面を十分に理解し、患者さんがどのような状態になればいいのかが今後の生活を考えたうえで立案して行くことが大切であると学んだ。また、看護目標を達成していくためには患者さんのゴールを考えながら達成できそうな目標を立て、患者さんにあった関わり方をしていくことが必要であると学んだ。

成人看護学実習 II に向けて、更に疾患についての知識を深めていき、対象の健康問題の解決に向けた関わり方をしていきたい。

鎌田 佑菜さん

今回の成人看護学実習 I を通して私は改めて事前に学習を行うことの必要性や知識を深めることの大切さを学んだ。事前に患者さん疾患について理解を深めることで実際の患者さんに及ぼす影響を捉えられた。また、患者さんや患者さんのご家族と信頼関係を築きコミュニケーションを図ることで安心感を得ていただけることに気付いた。そして入院していることによりベット上で過ごすことが多くの筋力の低下、日常生活動作の低下が見られるが、毎日のリハビリを行うことにより筋力の維持や向上を図っていた。私は患者さんの疾患を理解しベット上での運動を考案し、かかわりを深める中で少しずつではあるが筋力の向上がみられたことから、改めて身体を動かすことの必要性について学ぶことができた。

今回の実習で学んだことを活かし、今後の実習でも患者さんとの関わりを深くコミュニケーションを図ることや疾患からどのようなことが予測されるのかを考え患者さんが安全により安楽に生活が送れるように努めていきたい。



基礎看護学実習 I - ② (6日~24日) 1年生

看護技術発表会も終え知識の確認、看護技術の練習を重ねて臨地実習に臨みました。今回の体験からの学びを次に活かしましょう。

細川一貴さん

私が基礎実習 I を通して、学んだことはチーム内で情報共有を行い、仲間と協力し合うことの大切さです。実習では、行動計画通りにいかないことが多く、また、自分一人では援助を行うことができない場面がありました。そのため、情報共有をしっかりと行い、先生や指導者さんの居場所やお互いの行動計画を把握して、仲間と協力することがとても大切だと学ぶことができました。そして、基礎実習 I を通して、患者さんに今必要なものは何か、患者さんは今どう思っているかを考え、仲間内でも共有しあうことができるようになりました。これらの学びを生かして、日常生活でも仲間と協力し、お互い助け合えるような看護師になれるように頑張ります。



吉田澤司さん

私は今回の実習を通して多くのことを学びました。特に基礎的な知識と技術の大切さです。いざ患者さんに対して技術を行おうとすると頭の中が空っぽになり、次に何をすべきなのかわからなくなってしまいました。勿論実習に向けて練習を行っていましたが、その練習はまったく足りていなかったと思います。練習が足りなかったから次に何をすべきなのかわ忘れてしまい、素早く丁寧に行うことができず患者さんに負担をかけてしまいました。今回の実習を通して、座学や練習だけでは得られない経験によって、私は大きく成長することができたと思います。

今後も学びを深め、継続し、立派な看護師になるように努力していきたいです。

研修旅行 (15~17日) 3年生

各論実習が終了した翌週 15日から2泊3日で東京大学の標本室見学を目的に研修旅行に行きました。標本室見学後は自主研修計画に基づき、有意義な時間を過ごしてきました。

東京大学標本見学を見学して 十鳥崇太さん

今回の研修旅行で東京大学の標本室の見学をさせていただき、普段では見学することが困難で大変貴重な体験をさせていただきました。学校の紙面上で学んだ疾患の状況を、目を通して学ぶことができ、紙面上で学んだことの実体を感じることができました。また、疾患だけではなく、解剖的な脳の構造や奇形児の見学を行い、大きな衝撃を受けたことが事実ではありましたが、今後看護職として勤務する上では受け止めなければならない事実であって、人間ひとりひとりの生命を大切に尊重していくことが改めて大切であると感じました。

今回実感したことを今後も念頭に置き、自分が理想とする看護師への道を切り開けるよう、標本の方々への敬意を忘れず、自分自身のものとなるように将来へ繋げていきたいです。このような機会を設けていただきありがとうございました。

マギーズ東京へ 藤岡千伽子さん

私は、ゆりかもめに乗って、後藤先生とマギーズ東京に見学に行きました。マギーズ東京ってなに?何しに行ったの?と気になる方はマギーズ東京で検索してみてください。私はマギーズ東京で働く看護師さんとお話をさせていただき、人の心に寄り添うとはどういうことなのかについて深く考えるきっかけとなりました。本当に貴重な体験でした。研修旅行はディズニーに行って楽しむことも素晴らしいですが、東京でしか学べないことを学びに行ける大事な時間だと思います。東京でしか見られないものに触れて学ぶために研修旅行に行くことをお勧めします。



ディズニーリゾートへ 佐藤香奈恵さん

2日目の自主研修では、参加したほとんどの学生がディズニーリゾートへ行きました。絶叫系を始めとしたアトラクションに乗って悲鳴をあげ、パーク内を歩き回り疲れ果て、お土産を悩みながら選んだり・・・天気にも恵まれ、とても楽しい時間を過ごすことができ思い出を作ることができました。これから私達にとって最大の目標である「国家試験合格」に向けて残りの日々を大切に過ごしていきたいです。



ケーススタディ発表 (19・20日) 3年生

3年生の各論実習期間中に受け持たせていただきました患者さんへの看護を振り返りまとめた論文の発表会でした。

研究分野では老年看護学(富良野協会病院陽だまり病棟)、在宅看護論(訪問看護 ST)が多かったのが特徴でした。27名一人一人の「看護観」を感じることができました。臨地実習施設の指導者の皆様にもご参加いただき、心温まるご講評ありがとうございました。とても実りのある有意義な時間となりました。

新年があと数日で訪れます。これから大切な時です。心身の体調を整え、看護師国家試験、臨地実習に臨みましょう。次回発行は平成 30 年 3 月 6 日予定です。

